

令和5年度心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

| | |
|-----------------------------------|--|
| 学 校 名 | 柏市立逆井中学校 |
| ア 全校児童生徒数 | 615名 (令和5年5月1日現在) |
| イ 実践対象 (学年・人数など) | 全校生徒(615名) |
| ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可 | <p>①展開する教科等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校(615名) 道徳(2時間) ・各学年(1年 222名) 道徳(講師講義2時間) (2年 180名) 道徳(講師講義2時間) <p>②ねらい</p> <p>「心のバリアフリー」を体現するため、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」に基づき、以下の3点の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人への社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「障害の社会モデル」を理解すること。 ・障害のある人(及びその家族)への差別(不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供)を行わないよう徹底すること。 ・自分とは異なる条件を持つ多様な他者とコミュニケーションを取る力を養い、すべての人が抱える困難や痛みを想像し共感する力を培うこと。 <p>③取組予定内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業「相互理解」「思いやり」(各学年2学期までに実施) ・パラアスリート(やり投げ)による講演の実施(1学年:12月18日, 2学年:1月29日) |
| エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など) | <ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページにて活動内容を周知する。 ・学校運営協議会にて活動内容を周知する。 |
| オ 実践成果 (児童生徒の変化など) | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業では、共生社会を念頭においた他者理解と、自己理解を深めることができた。 ・講演では、障害のある方の実体験に基づいた内容から、普段の生活では気付かない様々な障壁について理解を含めると共に、困難を乗り越えようとする不撓不屈の精神を学ぶことができた。 |
| カ 次年度の予定 (課題や改善策など) | <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による講演は、非常に有意義であった。今後も市の事業や地域人材等を積極的に活用する。 ・多様な他者とコミュニケーションを取る力は、今後の時代を生きる生徒にとって重要であり、今後も継続して学習を進める。 |
| キ 添付資料 (広報資料・Web記事など) | <p>①学校ホームページ</p> <p>②講演の様子(画像)</p> |